

防草ブロックの製造時に排出されるCO2排出量を
カーボン・オフセット

全国防草ブロック工業会

全国防草ブロック工業会

所在地： 愛知県豊田市田柄町広久手614-184
代表者： 会長 矢野 明正
職員数： 全国36都道府県 65会員
URL： <https://jwba.biz/wp/>

1 事業の概要

本会は、防草技術を活かしたコンクリート二次製品、鋼製排水溝はじめ、シート資材、目地材、リサイクルガラス造粒砂等の環境技術製品を広範囲に製造販売することにより、企業として環境施策の推進と意識向上によって社会及び国土開発の発展を寄与するものとし、本会員の地位向上と地域社会・公共の利益に資することを目的とした企業組織です。

2 環境への取り組み

道路コンクリート二次製品「防草ブロック」を敷設することで従来防草対策工事が不要となることから、人力やカッター機器による草刈り、防草製品(テープ、シール、加熱式目地材)除草剤が不要となり、従来対策によって排出されていたCO2排出量を削減します。日本の「環境と国土」分野の多くの有識者、研究機関から評価を得て、道路二次製品としては唯一「環境製品」として位置付けされている製品で、平成28年2月には「愛知環境賞」を受賞しました。今後も環境を配慮した防草技術と製品開発で、次世代型の道路インフラをデザインします。

3 J-クレジット活用手法

令和元年度に敷設した防草ブロックの製造に伴うCO2排出量をカーボン・オフセットしています。防草ブロックの活用により、従来防草対策によって排出されるCO2を削減する努力を行うとともに、防草ブロックそのものの製造にかかるCO2排出量をカーボン・オフセットすることで地球温暖化対策に貢献します。

4 取組の感想

次世代型の道路インフラをデザインしていくために、世の中にあった新たな取組が必要と考え、カーボンオフセットへの取組を決めました。しかしカーボンオフセットの知識はなく、ゼロからのスタートであったため、まず会員の理解を促す取組から着手する必要がありました。中部局の支援事業への参加、専門家による勉強会開催を通して、会員の理解を促進したことで理事会の賛同を得ることができ、同取組が実現しました。

5 制度活用による効果

取組を通して会員のカーボンオフセットへの理解を促進することができました。同時に業界での気候変動への取組の必要性についても伝えることができ、理事会の中でも環境施策にウェイトを置いてもらえるようになり、本会でのSDGsのイベント企画に繋げることもできました。

6 活用事例

防草ブロック敷設時の施工現場



J-クレジット活用量 30tCO₂